

第22回「チーム新・湯治」セミナー

温泉地における 観光まちづくりのススメ

【趣旨】

我が国の温泉地は、古くから保健休養や観光の場として、地域のにぎわいの中心となってきました。一方で、旅行者のニーズの変化等により、かつてのにぎわいを失いつつある温泉地もあります。このような中、我が国の「温泉文化」をユネスコ無形文化遺産に提案することが決定され、今後国内外からの注目が一層高まり、温泉地の活性化につながることが期待されています。今回のセミナーでは、温泉地全体で魅力ある観光まちづくりに取り組む実践例を紐解きながら、温泉地における観光まちづくりのあり方や具体的な手法について考えていきます。

【プログラム】

14:00～ 1. 開会

14:05～ 2. 【講演】観光地経営の重要性と温泉まちづくり

國學院大學観光まちづくり学部 教授 梅川智也氏

14:15～ 3. 【事例発表1】阿寒湖温泉における入湯税のかさ上げ分の有効活用

NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構 専務理事 古川幸男氏

【事例発表2】湯河原温泉場のまちづくり～地域資源を活かした面的な魅力づくり～

湯河原町観光課 課長 宮下睦史氏

【事例発表3】長門湯本温泉 温泉街リノベーション

長門湯本温泉まち株式会社 エリアマネージャー 木村隼斗氏

15:15～ 休憩

15:25～ 4. 講演者によるパネルディスカッション

16:25～ 5. 質疑応答

16:40 6. 閉会

【配布資料】

1. プログラム ※本資料

2. 第22回「チーム新・湯治」セミナー参加者一覧

3. 講演資料（4件）

4. アンケート用紙

5. チーム員一覧（令和8年2月2日現在）

講師プロフィール

梅川智也（うめかわともや）氏 [國學院大學観光まちづくり学部 教授]

1981年 筑波大学第三学群社会工学類都市・地域計画専攻卒
財団法人日本交通公社調査研修部観光計画室研究員

2005年 同 研究調査部長

2013年 同 理事・観光政策研究部長

2018年 同 退任

立教大学観光学部観光学科特任教授

2020年 國學院大學研究開発推進機構教授

2022年 國學院大學観光まちづくり学部教授（現在に至る）

約40年にわたって全国の観光地の活性化や観光計画の策定、観光地経営、観光まちづくりなどに取り組む。

著書に『観光まちづくりの展望』（学芸出版社）、『観光地経営の視点と実践』（丸善出版）、『観光まちづくり』（学芸出版社）、『観光計画論』（原書房）など。

元（一社）日本観光研究学会会長。技術士（建設部門／都市及び地方計画）。

古川幸男（ふるかわゆきお）氏 [NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構 専務理事]

1981年 釧路市役所入庁

2006年 釧路市総務部行財政改革推進室長

2011年 釧路市総合政策部次長（財政課長事務取扱）

※総務省、北海道と協議し入湯税の嵩上げを全国でもいち早く制度化し条例制定

2014年 釧路市阿寒町行政センター長

※旧阿寒町の行政区域の総括担当

※第3セクターの株式会社阿寒町観光振興公社 代表取締役社長に就任

釧路市と阿寒湖の中心に位置しトータル的な観光振興を担う

2017年 釧路市上下水道部長

2019年 釧路市役所定年退職

株式会社阿寒リゾートホテル阿寒湖荘 取締役社長就任

2022年 NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構 専務理事

2023年 阿寒アドベンチャーツーリズム株式会社 常務取締役

DMO、DMC双方の役員の立場で阿寒湖温泉の賑わい創出に奔走

講師プロフィール

宮下陸史（みやしたよしふみ）氏 [湯河原町観光課 課長]

2000年4月 湯河原町役場入庁

2020年4月 湯河原町観光課長

これまで万葉公園再整備事業に携わるとともに、湯河原梅林「梅の宴」などの観光事業の企画運営を担当。

また、宿泊税の導入検討などにも関与し、観光施策の推進を通じて、持続可能な観光地づくりに取り組んでいる。

木村隼斗（きむらよしと）氏 [長門湯本温泉まち株式会社 エリアマネージャー]

2007年 経済産業省入省。原子力被災者支援、自動車産業戦略、3Dプリンタ振興、サイバーセキュリティなどを担当。

2015年から3年間 地方創生人材支援制度（シティマネージャー制度）により長門市役所に勤務、経済観光部長を務める。

長門湯本温泉観光まちづくりの推進、おもちゃ美術館やしごとセンターの立上げに携わる。

2020年 経済産業省を退職し、長門湯本温泉まち株式会社エリアマネージャーに着任。

過去の蓄積を消費する観光から脱し、地域固有の資源に根差す小さな事業の集積による持続可能な地域経営を目指す。

官民連携・地方創生を通じ、長門湯本温泉街が、働くこと・暮らすこと・旅することが緩やかにつながる体験の連鎖を生み出す場になるよう、日々活動中。

著書に『温泉街リノベーション：公民連携&星野リゾートで挑む「オソト天国」長門湯本温泉の10年』（2025年12月旅行読売出版社刊・共著）。